

平成25年 第4回 定例会

審査結果

平成25年第4回常総市議会（定例会）が、9月4日から25日までの22日間の会期で開かれました。

今定例会には、一般会計補正予算を含む議案14件と決算認定9件を市長が提案。初日の本会議で提案理由の説明がありました。9月13日には、議案1件が追加提案され、議案等は各常任委員会及び予算・決算特別委員会に付託され、各委員会において詳細に審議がなされました。

最終日には、市長から人事に関する選任・任命同意、議員提案による議案2件が提案されました。採決の結果、議案21件と認定9件が原案のとおり可決・承認・認定・同意されました。請願3件は1件が採択、2件が不採択となり、陳情1件は採択となりました。

その他、各種委員の推薦1件、特別委員会委員の選任1件が推薦・選任されました。可決された主な議案は次のとおりです。

認定第1号
平成24年度常総市一般会計歳入歳出決算認定について

平成24年度一般会計決算は、258億631万2567円の収入済額に対し、支出済額は、245億7173万8797円。差引残額12億3457万3770円から繰越明許費等2億6171万1000円を引いた9億7286万2770円を平成25年度に繰り越しました。

認定第2号から8号
特別会計歳入歳出決算認定について

特別会計は、一般会計と切り離して、特定の事業ごとに運営する独立した会計です。国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、介護サービス事業、公共下水道事業、大生郷特定公共下水道事業、農業集落排水事業の7つの特別会計があります。

認定第9号
水道事業会計歳入歳出決算認定について

水道会計は、地方公営企業法の適用を受ける企業会計です。その

年度の損益を明らかにするための「収益的収支」と、施設の整備などに充てる「資本的収支」の2つに分かれています。

※決算の詳細については、広報常総11月号をご覧ください。

議案第74号・選任第3号
政治倫理条例改正に関する特別委員会の設置及び委員の選任について

議員は市民の厳粛な信託を受けて奉仕者として市政に携わっており、議員報酬を税金からいただいていることから、市が賦課する税等の納付状況を記載した報告書提出の義務付け、報告書の市民への公開等ができるようにするほか、諸般の事情を考慮し、必要箇所の見直しを含めた調査・検討をすることを目的として特別委員会を設置することになりました。

〈委員名簿〉 ◎委員長 ○副委員長
政治倫理条例改正に関する特別委員会

- ◎中村 安雄 ○喜見山 明
- 金子 晃久 堀越 輝子
- 茂田 信三 遠藤 章江
- 小林 剛 倉持 守

一般質問

14名通告順

図書館行政日本一に向けた現状と今後の方針について問う（二問一答）

遠藤 章江議員



質問 図書館行政日本一を掲げた高杉市政の中で、図書館の運用を

どのように展開していくのか。

答弁（教育部長）

当面は現在の施設を有効活用し、計画的な修繕を行っていく。

質問 新しい図書館を建てる考えは、

答弁（市長）

建てる計画はない。

質問 石下地区の方の利用状況は、

答弁（図書館長）

登録者数は全体の11・5%、貸出数は全体の6.3%である。

質問 水海道地区と石下地区の住民

の図書館行政・教育に大きな隔りがある。市長の考えは。



交流センター図書室

答弁(市長)

現在ある施設を有効活用し、石下地区に分館等をつくらうと考えている。

質問

総合福祉センターを図書館の分館にするのか。

答弁(市長)

有力な候補の一つである。

質問

図書館行政日本一に向けた取り組みは。

答弁(市長)

ハード、ソフト両面から読書教育を向上できるような運動をしていきたい。

質問

「ザ・ラストブック」という提言があるが、時代を見越した新たな図書館を構築する考えは。答弁(市長)

新しい提言を積極的に取り入れ、日本一を目指していきたい。

＜その他の質問＞

○甲狀腺機能検査結果の分析・評価、今後の対応について

○大型構造物の解体等に伴い、住民の健康を守るため、どのような取り組みを行っているか

高崎坂東線の通学路について(総括質問)

茂田 信三議員



質問

今から4年前の12月議会において、県道から市道に認定して

危険度の高い道路を安全な道路にするための議案がわずか1票の差で否決された。4年という歳月を考えると、あの時決されていればその後の事故もなかったし、今頃完成していた。当時の持ち出しに比べ、7000万円以上も余計にかかる。なぜあの時反対したのか。市長自ら反対して、その後二転三転し

ている。今回、県道から市道に一時的に移管してその同意をもらいたいとのことだが、どうしてそういうふうになるか、どうなのか。その間長い年月が経過している。どうして政策が変わったのか聞きたい。また、予算、工期等今後のスケジュールはどうなるのか。工期については短縮を図っていただきたい。

答弁(都市建設部長)

一般財源については、21年12月議会時に比較し7137万円増の1億1155万5000円となる見込みで、事業期間は平成26年度から30年度までの5カ年である。

質問

危険極まりない道路なので、1日も早く完成させなければならぬ。工期の短縮はできないのか。また、二転三転したのでから市長は謝罪するべきである。

質問

用地交渉や地盤改良工事があり、順調にいつても5カ年は必要な期間と考える。できるだけ工期の短縮については検討していきたい。

答弁(市長)

議会で議決され、賛成多数で成立した段階で謝罪したい。

＜その他の質問＞

○石下中学校グラウンドの防球ネットについて



高崎坂東線

十一面山の位置づけについて(総括質問・一問一答)

吉原 光夫議員



質問

平成15年から地権者や市民団体が県や市の援助を得て整備を進め、ごみが散乱する荒れ果てた山が、四季折々の風景を醸し出すすばらしい里山となった。この状況を維持、継続するためには、下草刈りや間伐等の大変な仕事がある。将